



【歳入】

	項目	金額	比率
自主財源 1	町税 3	5億8,651万円	8.5%
	繰越金	1億2,562万円	1.8%
	その他	7億2,892万円	10.6%
依存財源 2	地方交付税 4	36億3,235万円	52.8%
	町債	9億6,310万円	14.0%
	国庫支出金 5	3億3,692万円	4.9%
	県支出金 5	3億4,443万円	5.0%
	その他	1億6,397万円	2.4%
	歳入合計	68億8,182万円	100.0%

【歳出】

	項目	金額	比率
義務的経費 7	人件費	12億 779万円	18.1%
	扶助費 9	2億1,203万円	3.2%
	公債費 10	11億6,552万円	17.4%
その他の経費	物件費 11	10億9,997万円	16.5%
	補助費等 12	3億3,633万円	5.0%
	繰出金 13	11億1,962万円	16.7%
	その他の経費	2億 909万円	3.1%
投資的経費 8	普通建設事業費等 (うち災害復旧事業費)	13億3,133万円 (1億1,184万円)	20.0% (1.7%)
	歳出合計	66億8,168万円	100.0%

一般会計

歳入

29年度に比べ3億2,051万円の減額、依存財源は2億497万円の増額となりました。



1世帯あたりの町税負担額
150,232円
(▲186円)



町民1人あたりの町税負担額
86,302円
(+510円)

その他(自主財源)の内訳

使用料及び手数料 1億4,021万円
寄附金 1,339万円 繰入金 3億9,000万円
諸収入 1億 842万円 その他 7,690万円

その他(依存財源)の内訳

6 地方譲与税 2,570万円
地方消費税交付金 1億2,401万円
その他の交付金 1,426万円

用語の説明

- 1 自主財源…町税・手数料・使用料・財産収入・寄附金など、町が独自に調達できる財源
- 2 依存財源…地方交付税のほか国庫支出金・地方譲与税・県支出金など国や県に依存するかたちで調達する財源
- 3 町税…町民税・固定資産税・軽自動車税・たばこ税など
- 4 地方交付税…どの市町村でも一定の行政サービスを行うように国から交付されるお金
- 5 国庫(県)支出金…町が行う事業に対し、必要に応じて国(県)から交付されるお金
- 6 地方譲与税…国税として徴収された後、町に譲与されるお金

歳出

29年度に比べ2億4,599万円の増額となりました。

用語の説明

- 7 義務的経費…支出が義務付けられている人件費・扶助費・公債費にかかる経費
- 8 投資的経費…道路の建設など、社会的資本整備に要する経費
- 9 扶助費…高齢者や児童、障がい者などへの支援に要する経費
- 10 公債費…町の借入金の返済にかかる費用
- 11 物件費…町の事業に必要な消耗品や備品、委託料などに要する経費
- 12 補助費等…町から民間や他の地方公共団体に対して交付される現金的給付に要する経費
- 13 繰出金…特別会計の事務事業を補助するため、一般会計から特別会計に支出するお金

この島で生きる意味

みなさんは、「どうしてこの島に住んでいるのですか?」と聞かれたらどう答えますか。「ここで生まれ育ったから」「ここが暮らしやすいから」等々、実に様々な答えがあることでしょうか。肯定的な答えと否定的な答えがどのくらいの割合であるのかが気になるところですが、一つ一つの答えを深く分析してみたいと思いませんか。

生まれ育ったところに対する愛着はどの部分が一番大きいのか、新たに定住するときに「ここだ!」と決めた理由、暮らしやすいのはどのような点なのか、それら全部をカードに書いて並べてみると意外なことが見えてくるかもしれません。

普段は意識していない当たり前と思っていたことが具体的な事象として明確になったり、ありがたみが見直されたりと、「幸せは失くしてみないと解らない」と言われますが、私たちの島の暮らしとは、そういうものかもしれません。

このところ頻発している自然災害にあわれた方たちも「普段テレビで見ているだけだったが、こんな

に大変だということが初めて分かった」と述べています。

島を囲んでいる豊かな海、狭いながらも変化に富んだ生態系を育む土地、縄文時代をさかのぼる太古から瀬戸内海の島で暮らし続けてきた人々など、これらのどの要因の一つが欠けても島の持っている良さが崩れてしまいます。

そのうえで、これからどんな島の形態にしていくのか。島を取り巻く変化の激しい社会情勢の中で、島の中もどんどん変化を続けています。止めようと思っても止めにくい部分、みんなで頑張ればなんとか食い止められそうところ、前もって仕掛けていけば実現できそうな計画、いろいろあります。

これだけ考え方や行動パターン、価値観が多様化していると一つにまとまった具体策は立案しにくいのですが、それでもできることを一つずつやるしかないのです。この島で楽しく生きていくために、あなたはなにから取り組んでみたいですか。

上島町長 宮脇 馨

CONTENTS

広報かみじま
2019年11月号 第182号



今月の表紙
弓削秋季大運動会より

- 2 町長の独白 / 目次
- 3 上島町決算報告
- 6 健康だより
- 8 役場各課紹介 / 島おこし協力隊活動報告
- 9 LETTERS FROM SCHOOL
- 10 ALTコーナー / 観光協会だより
- 11 上島の文芸 / KAMIJIMA KITCHEN
- 12 しまなみ農業だより
- 13 消防だより
- 14 お知らせ
- 19 島々の話題
- 22 戸籍だより
- 23 行事カレンダー / 潮汐表
- 24 KAMIJIMA SNAP / 潮湯だより